総合認証機関
JACO

環境データ 第三者検証報告書

富士電機株式会社　御中

2026 年 10 月 30 日

株式会社 日本環境認証機構
東京都千代田区神田鍛冶町 3-4
代表取締役社長　岡島善明

株式会社日本環境認証機構（以下、「当社」）は、国内連結会社・海外連結生産子会社を含む富士電機株式会社（以下、「組織」）が責任を有する報告された環境データのうち、組織から要請のあったものに対して、独立した立場から検証を行った。検証の目的は、報告情報の信頼性および正確性など、報告情報の信憑性を検証した結果についてその見解を述べることにある。

検証は、国際保証業務基準（ISAE）第 3000 号に則した当社の検証基準を基本に、組織と合意した手順により、限定的保証として行った。限定的保証業務で実施される手続は、合理的保証業務よりもその種類と時期が多様であり、その範囲が狭い。その結果、限定的保証業務で得られる保証の水準は、合理的保証業務が実施されていたなら得られたであろう保証よりも相当に低い。

【検証内容の概要】

当社は、組織との合意に基づいて、 2025 年度（2025 年 4 月 1 日から 2026 年 3 月 31 日まで）における環境データに対して、以下の検証を実施した。

1. 検証対象

組織における国内外の生産拠点 33 拠点における事業活動に伴う、以下を主とした環境パフォーマンス情報。

・エネルギー使用量(再エネ発電電力購入量を含む)
・水使用量(購入量と取水量(地下水))
・有価物を含む廃棄物(発生量、最終処分量)
・大気への VOC 排出量

2. サンプリング対象

・データ検証事業所 6 か所（うち訪問事業所 2 ヶ所）

いずれの事業所においても、策定された関連資料の確認、責任者及び担当者へのヒアリング又は書類による確認、データ入手方法の確認、報告されたデータと根拠資料との突合により検証を実施した。

【検証の結果】

当社が実施した手続き及び入手した証拠に基づいて、主要データの評価に関して、組織の算定基準に照らして適正では無いと確信する事項は、全ての重要な点で発見されなかった。

【検証された環境データ】

・エネルギー使用量　1,002 GWh　　・水使用量(購入量と取水量(地下水)) 9,964 千 m^3
・廃棄物　発生量 30,859 t、最終処分量 24 t　　・大気への VOC 排出量 471 t

【独立性と品質管理】

当社は、誠実性、客観性、職業的専門家としての能力と正当な注意、守秘義務、及び職業的専門家としての行動に関する基本原則に基づく独立性及びその他の要件を含む、国際会計士倫理基準審議会の公表した「職業会計士のための国際倫理規程」に準じて検証を行った。また、当社は、国際品質マネジメント基準第１号に準じた、倫理要件、職業的専門家としての基準及び適用される規則の要件の遵守に関する文書化された方針と手続を含む、包括的な品質マネジメントシステムを維持している。

以上